

**第1回武蔵野市立武蔵野プールおよび武蔵野温水プール
の整備方針に関する有識者会議要録**

日 時：令和6年7月25日(木曜日) 午後3時から午後4時15分

場 所：市役所西棟4階 413会議室

出席委員：小林宏委員、林立也委員、松田雄二委員、水谷俊博委員、宮下みさ子委員

会議進行：東畠建築事務所（会議運営委託業者）

事務局：教育部長、教育部生涯学習スポーツ課スポーツ推進担当課長ほか

1 開会

2 教育部長挨拶

3 配付資料の確認

4 委員自己紹介

5 事務局紹介

6 議事

**議事1 武蔵野市立武蔵野プールおよび武蔵野温水プールの整備方針に関する有識者会議
の傍聴について**

傍聴について、委員の了承を得た。傍聴者9名入場。

議事2 これまでの経緯

事務局より「資料4 施設の概要（公共施設カルテ）」と「資料5-1 プールの使用状況等」、「資料5-2 令和5年度夏期プール入場者数(日報)」、「資料6-1 これまでの経緯説明資料」、「資料6-2 第二期武蔵野市スポーツ推進計画」、「資料6-3 市営プールの整備に関する市民アンケート調査等報告書」、「資料6-4 武蔵野市第六期長期・調整計画(抜粋)」説明

議事3 今後のスケジュールと本会議について

事務局より「資料7 今後のスケジュール(案)と本会議について」説明

【事務局】本会議は有識者である委員の皆様より、意見を聴取し、又は助言をいただく会議となります。この会議において、整備方針について結論を導き、決定するものではございません。そのため、本会議を取りまとめる座長や委員長を置かず、会議全体の進行については、事務局にて行います。なお、本有識者会議を行うにあっては、会議のスムーズな進行や活発な意見交換を行うため、現施設の課題点の整理や資料の作成、会議運営のサポートを株式会社東畠建築事務所にお願いしております。ここからの議事の進行、説明及び会議のファシリテートについては、進行役の東畠建築事務所にお願いをいたします。

議事4 現地視察会における現施設の課題について

進行役より「資料8 プール平面図（課題箇所記載）」と「資料9 現状の課題点リスト」説明

【委員】竣工から長い年月が経っているので、使い勝手が悪く、不具合が出ている箇所が多く感じる。また、利用者の動線だけでなく、管理側の動線や事務所の広さについても見直す必要があると思う。屋外プールのあり方については、今後議論していく必要がある。

【委員】老朽化が進んでいることは否定できない。バリアフリーや市民サービスの観点においても今のニーズに対して遅れをとっているが、新しい施設になれば大概の課題が改善できる内容と考えている。屋外50mプールがなくなることで失われるものもあると思うが、屋外50mプールを廃止することによって生まれるスペースを活用し、新しい市民サービスが提供できると考える。また、一般的にサービス量が増加するとエネルギー消費量も増加するが、本プールではクリーンセンターの排熱を利用してすることでエネルギー消費量を増加させずサービス量を向上させることができる。武蔵野市では高い温室ガス削減目標を掲げているので、市民サービス向上と環境負荷軽減のどちらの面も意識して計画を行ってほしい。

【委員】マイノリティユーザー、障害者からの視点では、プールと更衣室の階が異なるのにも関わらず、エレベーターが未整備なのは致命的だと考える。車椅子を使用しないが、階段での移動に不便がある方も多いと思う。また、ニーズに合わせて丁寧に改修を重ねて運営している点に非常に感心したが、改修のみだとどうしても改善できない点がいくつか見られた。親子更衣室についても手狭であると感じた。知的障害者と同性ではない介助者がいることを考えると、家族で利用できる更衣室が必要となってくると考える。車椅子利用者の点では、車椅子利用者がどのようにプールサイドからプール内へと移るのか疑問に感じた。屋内外問わず、リフトの使用、プールをかさ上げし水面を車椅子レベルとする、長いスロープを設置する等の対応方法がある。長いスロープを設置した事例は、荒川総合スポーツセンターのプールが該当する。

【委員】既存を活用しながら使い続けることはハードルが高いと考えており、建替えれば挙げられている課題はほとんど解決すると思う。近隣の他施設と連携を図り使い分けなどをすることで、屋外プールをなくすことに対しても妥当性があると考える。可動屋根については、劣化し動かせなくなっているが、今の技術で可動屋根が劣化する懸念がどの程度あるか調べたうえで採用するか決めていけばよいと思う。可動屋根のフレキシブルさにはメリットがある。また、敷地内だけではなく、周辺エリアとの関係性、施設の立ち位置も考えてほしい。デザインも含め、景観にも配慮する必要がある。周囲に開くことが妥当かどうかという点もあるが、現状は周囲に開かれていない感じとなっている。プールを計画する

際に、商業施設などの付帯施設を整備する事例もあるので、今後方向性を探っていければよいと思っている。

【委員】問題点、使い勝手が悪い点が多くあると感じた。入口の観音扉や天井の低さ、また、床に水が溜まり、かき出していた箇所もあり、従業員の苦労を感じた。また、足が不自由な方にとって2階の更衣室へ上るのは大きな負担となるため、1階に更衣室を設置することを望む。大事に使用してきた施設なので、新しくすることで市民サービスの向上を図ってほしい。

【進行役】貴重なご意見をありがとうございます。屋内プールができる前からある管理棟について、築42年と古い建物でエレベーターが未整備などバリアフリーの観点では不十分な点は多くある。だが、ウェットとドライの動線計画などよく考えられている点もあるので、良い点と課題点を十分把握したうえで、今後議論を進めていきたい。

議事5 都内公営のプールの現状と近年の施設整備の傾向について

進行役より「資料10 都内公営プールの仕様等一覧」説明

【委員】荒川総合スポーツセンターの隣に、あらかわ遊園子どもプールという屋外プールがあったが、令和5年度末で廃止となったよう。

【進行役】健康増進という観点ではレーンが備わっていた方がいいかもしれないが、子供の頃から親しめるような設備も大切だと思うので、第4回の有識者会議で皆さんから親しまれるプールという観点から改めて議論できればと思っている。

【委員】非常にわかりやすい図だが、代表的な施設だけでも良いので、竣工年や運営形態、バリアフリーなどの情報も追加してほしい。

【進行役】全てを調べるのは難しいが、わかる範囲で追記をしていく。第3回または第4回の有識者会議に向けてバリアフリーやプールの最新設備について調査、報告をするので、委員から意見・ご指摘をいただきたいと思う。

【委員】資料1-5の中で、屋外プールを全面貸し切りした市民スポーツ水泳大会が年1回行われるがあるが、屋外50mプールがなくなると、この大会は開催できなくなるのか。

【事務局】市民スポーツ水泳大会は屋外50mプールと屋内25mプールを使用して実施している。建替える場合、25mプール、50mプールのどちらを整備するか今後検討を進めていく。また、アクアスロン大会でも、現状屋外50mプールを使用しているが、運営の仕方で屋内25mプールでも開催できると考えている。

【進行役】東京23区はプールの屋内化が進んでいる。市部では、屋内外プールの両設備を設けた施設があるのは武蔵野市とあきる野市のみであったが、あきる野市民プールの屋外プールは幼児用プールとスライダー等だけのため、武蔵野プールのように屋内外に25mや50mプールを備えた施設は都内では数少なくなっているのが現状である。

【事務局】第2回の有識者会議では、模型も用意し、検討案について有識者のご意見をいただければと思う。

7 その他

事務局より 事務連絡

【事務局】第1回武蔵野市立武蔵野プールおよび武蔵野温水プールの整備方針に関する有識者会議を閉会する。